

○ 農業委員会委員の募集状況(中間)

※令和8年2月13日時点

番号 (推薦・応募)	推薦を受けた者(被推薦者)又は応募した者						推薦をした者(推薦者)		推薦(応募)の理由	農地利用最適化推進委員の推薦・応募の有無	
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者等への該当	個人	団体		
								役職等(期間)	氏名		
1 (推薦)	竹内 俊好	男	67	農業	ぎふ農業協同組合 (S56.4～R元.3) ぎふ農業協同組合理事 (R3.6～現在) 保護司 (R6.5～現在)	・自家消費 ・50年 ・90日／年 ・28.8アール ・水稻 露地野菜	無	伊藤 一仁 ・男 ・74歳 ・農業		被推薦者は、農協職員として市内数多くの支店に勤務し、地域の農業・農家の状況に精通している。特に、退職時は統括支店長として市橋・鏡島・本荘地区農政推進委員会の農政推進委員が担う地域農業の役割を理解し、支援を図ってきた。 また、現在は地元茜部及び厚見地区の農協理事として茜部農業感謝祭・食農教育(茜部小学校五年児童の米作り)の事業推進の支援を図って適切に遂行している。 この様なことから、農業委員会の重要な役割である担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消を図り、農地利用の最適化等を適切に進めることができる者である。	無
2 (推薦)	山口 貴範	男	39	農業、農業委員会委員	農業委員会委員 (R2.7～現在) 岐阜地域青年農業士会長 (R7.4～現在) 岐阜市立三輪北小学校PTA会計 (R7.4～現在)	・専業 ・12年 ・300日／年 ・10,900アール ・水稻 露地野菜 施設野菜	有	山口 温朗 ・男 ・77歳		山口貴範氏は、2期農業委員会委員を務め、今回3期目の推薦である。 山口氏は、有限会社三輪北農産の役員を務め、地域農業の理解や、小学校の食農教育にも貢献しています。 よって今後の岐阜市農業委員会委員に推薦します。	無
3 (応募)	高橋 美穂子	女	54	農業、農業委員会委員	農業 (H27.6～現在) 岐阜県女性農業経営アドバイザー(H29.4～現在) 農業委員会委員 (R2.7～現在)	・専業 ・10年 ・350日／年 ・18アール ・施設野菜	有			私はいちご栽培、岐阜県女性農業経営アドバイザーとして活躍しています。さらに農業委員会委員として地域の方々に教えさせていただきながら活動をしてきました。 その中で高齢化に伴う後継者不足、新規就農者の減少、農地集積の難しさを痛感しています。地域の農業、農地を守り次世代にむけて魅力ある楽しい農業を伝えていきたいと思い農業委員会委員に応募しました。	無
4 (推薦)	林 明	男	77	農業、農業委員会委員	農業委員会委員 (H30.12～現在) 各務用水土地改良区理事 (R4.7～現在) 北長森農政推進委員 (R6.4～現在)	・専業 ・37年 ・250日／年 ・250アール ・水稻	有	北長森農政推進委員会(林 俊朗) ・北長森地区的農業の振興を図り、地域農業政策を推進する ・18人 ・北長森地区的農事改良組合の代表		最近、多く発生している耕作放棄地、遊休農地の課題を理解し、積極的に農地再利用や対策などに関与している。 農地や地域の環境保全活動を長森地域環境保全協議会や担い手となる農事組合法人に参加し、地域農業の健全性や存続に取り組んでいる。 各務用水土地改良区を通じて、関係農事組合法人と連携を図るとともに、農地利用の最適化の取り組み事例を視察するなど情報収集を行い、地域の農業や環境の向上発展に努めている。 長森地域の土地改良を計るべく、一部地区的圃場整備事業の意向調査に対し、長森地区基盤整備調査検討委員会役員として、環境保全協議会や担い手とともに地元意見の反映に取り組んでいる。	無

○ 農業委員会委員の募集状況(中間)

※令和8年2月13日時点

番号 (推薦・応募)	推薦を受けた者(被推薦者)又は応募した者						推薦をした者(推薦者)		推薦(応募)の理由	農地利用最適化推進委員の推薦・応募の有無	
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	認定農業者等への該当	個人	団体		
					役職等(期間)	・経営形態 ・當農年数 ・農業従事日数 ・耕作面積 ・営農類型		氏名 ・性別 ・年齢 ・職業	名称(代表者又は管理人の氏名) ・活動の目的 ・構成員の数 ・構成員の資格、要件等		
5 (応募)	宮部 辰男	男	74	農業、農地利用最適化推進委員	方県農政推進委員会副会長(H26.4～R2.7) 方県農政推進委員会会長(R2.8～現在) 農地利用最適化推進委員(R2.8～現在)	・専業 ・43年 ・125日／年 ・600アール ・水稻	有			岐阜市の認定農業者として556aの利用権設定を行い主に稻作を実施し地域農業の推進を担っている。 平成23年から方県農政推進委員会の委員として地域の農業や農家情報に精通しており農業委員会の業務に貢献できると考える。 令和2年8月から農地利用最適化推進委員として主に方県地区的農業推進及び農地の適正利用を推進してきており、農業委員会委員として活動し農地の適正利用を推進したい。	無
6 (応募)	藤吉 理功	男	76	自営業、農業委員会委員	農業委員会委員(R5.7～現在)	・兼業 ・35年 ・50日／年 ・50アール ・水稻 露地野菜	無			私の住む三輪地域は米作に適した土地ですが、かつては多かった自作農家が高齢化や体調不安などにより、離農する人が増えております。 それを補っているのが担い手農家ですが、経営面では苦労されているようです。 現在進行中の地域計画を充実して、集約化、集積化を進めることによって、作業効率の向上を図る必要があると考えます。微力ながらそのために尽力したいと思います。先祖伝來の農地を守るためにも、力を尽くしたいと思います。	無